

職員による自己評価

A 環境面

- ・環境を整える意識をもって取り組むようにしている
- ・活動スペースを清潔に保つように注意を払っている

B 業務改善

- ・PDCA サイクルは会議内で徹底して行えており、職員が参画できている
- ・外部評価はしていないが、業務改善には取り組んでいる
- ・職員の資質向上のため適宜 OJT、OFF - JT 研修の機会を確保している

C 適切な支援の提供

- ・適切なアセスメントツールを使用していると思う
- ・ガイドラインに従い、個別支援計画書は作成されていると思う
- ・支援計画に沿った支援は行えていると思う
- ・立案は常勤が行っているが、立案を元に活動の方法、アイデア、内容の検討は常勤、非常勤と関わり行っている。一緒に考える機会をつくれている。
- ・固定化しないように工夫されている
- ・活動前のミーティングは必ず行っている
- ・全員揃わない日はあるが、ほぼ毎日活動後ミーティングを行い、情報共有、支援の振り返りは行っている
- ・

D 関係機関や保護者との連携

- ・母子保健、子育て支援との連携支援とはどこまでのことを指しているのか。
関係機関とは必要に応じて行うようにしているが、求められていない場合は難しさもある。
- ・今年度は重症心身障害児の利用がなかった
- ・移行支援対象児がいなかった
- ・研修に参加し、フィードバックを行っている
- ・つくしんぼ園、近隣保育園児との公園での交流は行った
- ・園との交流はコロナ禍でもあり、積極的には行えず、外での交流にとどめた。
- ・日頃よりミーティングで共通理解をもつようにしている
- ・保護者への家族支援は行えていない
- ・ペアレントトレーニングを知らない

E 保護者への説明

- ・保護者からの相談に、連絡帳への返答、電話での問い合わせに対応している。送迎時に様子を伝え、相談を受けて、対応している。
- ・コロナ禍であり、父母会、保護者連携支援は行えていない
- ・年4回の会報発行(利用者配布)、年度初めには『療育とは』をホームページ掲載している
- ・個人情報の取り扱いには注意を払っている
- ・地域住民との交流は『はびねす』での発信している。
- ・地域に開かれて事業運営は保護者の意向もあり、行えていない

F リスク管理

- ・発生を想定した防災訓練は行っている
- ・マニュアルの周知が不十分な状況がある
- ・ヒヤリハット、事故、苦情の改善策、事例共有は行われている
- ・虐待防止に関する研修などに対応している
- ・身体拘束については個別支援計画書への記載、保護者へは説明しているが、子ども本人への説明は不十分と思われるが、年齢的な難しさもある